

山形県でのコイヘルペスウイルス病発生状況

内水面水産振興部 齋藤 哲

【目 的】

特定疾病に指定されているコイヘルペスウイルス病（以下、KHV 病という）の県内での発生状況を経年調査し、防疫対策に資する。

【概 要】

県内で KHV 病が初めて確認された 2004 年度以降の発生件数および検査件数について、年度ごとの推移を図 1 に示した。なお、検査方法は特定疾病診断マニュアル（社団法人日本水産資源保護協会, 2008）に沿い、当所

で実施した一時診断（PCR 法）で陽性となった場合、国立研究開発法人水産研究・教育機構増養殖研究所にて確定診断を実施した。

発生件数は、初発年度の 2004 年度では 69 件を記録したが、翌年には 16 件まで大減し、これ以降は 2013 年度を除くと概ね 10 件以内で推移している。2013 年度は、隣接する 2 集落内の個人池を中心とした集団感染が発生し、発生件数は 40 件にのぼった。

2023 年度は 6 件検査し、そのうち 6 件が KHV 病陽性となった。

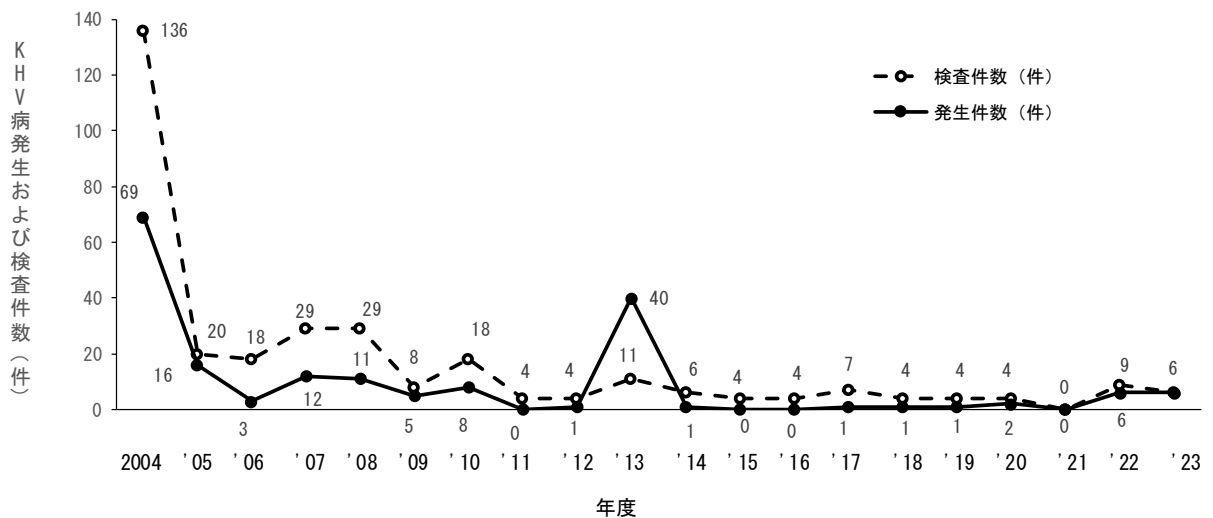


図 1 山形県でのコイヘルペスウイルス病の発生および検査件数の推移

2013 年度は隣接する 2 集落内で集中発生したことから一部の検査を省略したため、検査件数が発生件数を下回る。